



平成 20 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 大和自動車交通株式会社
 代表者名 取締役社長 新倉 能文
 (コード番号 9082 東証第 2 部)
 問合せ先 取締役社長 新倉 能文
 (TEL . 03 - 3564 - 4954)

特別利益及び特別損失の計上並びに 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 1 月 15 日決算発表時に公表した(連結)及び(個別)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 20 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 26,800	百万円 400	百万円 50	百万円 100	円 銭 9.54
今 回 修 正 予 想 (B)	27,044	233	153	114	10.96
増 減 額 (B - A)	244	167	203	214	
増 減 率 (%)	0.9	41.8	406.0	214.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	26,781	638	250	307	29.37

2 . 平成 20 年 3 月期個別通期業績予想数値の修正 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 15,800	百万円 300	百万円 30	百万円 80	百万円 7.63
今 回 修 正 予 想 (B)	15,816	334	0	115	10.98
増 減 額 (B - A)	16	34	30	35	
増 減 率 (%)	0.1	11.3	100.0	43.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	15,818	385	82	205	19.65

5. 修正の理由

(1) 連結

当社、連結子会社及び持分法適用会社において、旅客運送事業ではタクシー運賃改定が平成19年12月3日より実施されましたが、深夜時間帯割増率の減少、景気減速による利用減少から、タクシー売上高は前期に比して微増に留まり、ハイヤー売上高は燃料価格高騰分の運賃改定交渉の遅れ、さらに乗務員不足による稼働率が低下し減収となりました。不動産事業では、賃貸面積増床計画を進展させ新規賃貸ビルの取得及び建築により増収いたしました。販売事業では原油価格の高騰から原油関連製品仕入価格が高騰し、さらにガソリン及びLPG市況はより一層厳しい状況が続き販売価格への転嫁が進まず増収したにもかかわらず大幅減益となりました。その他事業のうち自動車教習事業では道交法改正による免許区分の変更、少子化による教習生の減少から同業他社との価格競争を招いており、すでに人件費削減を実施し、二種免許取得者獲得を進めていますが、当期においては減収・減益となりました。経常利益については経費の節減に努めてまいりましたが、予想を超える原油価格の高騰から燃料費・原油関連原材料費の大幅な増大、前期に取得した不動産の減価償却費及び車両リース料の増加などにより当初予想より167百万円減少、当期純利益は、投資有価証券売却益185百万円及び事業損失引当金取崩益226百万円を特別利益に計上し、租税特別措置法改正に伴い役員退職慰労引当金繰入額122百万円を特別損失に計上し、当初の予想より214.0%減少し114百万円となる見込であります。

(2) 個別

ハイヤー・タクシー売上高は、タクシー運賃改定が平成19年12月3日より実施されたものの、深夜時間帯割増率の減少、景気減速による利用減少、ハイヤー運賃改定交渉の遅れ、さらに乗務員不足から稼働率が低下し減収となりましたが、不動産賃貸売上高が新規賃貸ビルの取得及び建築により増収し総売上高は当初予想を上回りました。経常利益については、燃料費の増加、借入金の増加による支払利息の増加などにより当初予想より30百万円減少しました。当期純利益は、投資有価証券売却益185百万円及び事業損失引当金取崩益226百万円を特別利益に計上し、租税特別措置法改正に伴い役員退職慰労引当金繰入額87百万円を特別損失に計上し、当初予想より43.8%増加し115百万円となる見込であります。

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上